

第 206 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2015 年 5 月 23 日（土） 13:00～19:00

場所：関西大学千里山キャンパス 学術フロンティアセンター2 階 F21 会議室

（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、井上（会計）、
工藤（大会事業）、徳丸（事業）、星野（電子化検討）、関（広報）、前田（庶務、会誌）、
安信（会計監事）、和多田（事業監事）

オブザーバ：萩原（次期：会長）、橋山（次期：大会事業）、堀口（次期：事業）、川本（次期：会誌）、
片上（次期：将来構想・他学会連携）、伴（次期：賞選考・女性会員）、三河（次期：広報）、
金久保（次期：会計・会員）

欠席者：中嶋（副会長）、佐藤（他学会連携）、中川（次期：副会長）、彌富（次期：庶務）、

1. 前回議事録の承認（資料 206-0）

第 205 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) FSS2015 の運営状況について（工藤、星野）（資料 206-1）

・工藤理事より、昨日(5/22)が講演申込締切であったが、現時点でまだ 160 件の発表件数であることが報告された。実行委員を担当する橋山理事候補者からは、まだ原稿提出までに時間があるのでこれから講演申込の確認作業を行っていく予定であるという現状報告があった。

(2) 評議員候補者及び今後の作業について（林）（資料 206-2）

・林副会長より、今回は役員が新旧入れ替えの時期であるため、評議員も大幅な改定となることが報告された。評議員の任期は連続 2 期までとなっており、1 期目（資料表中の○）と 2 期目（◎）の方全員（5 月 23 日現在：41 名）に依頼状を送付し、非会員には送っていないとの説明もなされた。
・今回は前期理事会メンバーの会員退会者（5 月 23 日現在：6 名）と評議員辞退者（5 月 23 日現在：2 名）がおり、評議員候補者の数自体が例年よりも少ないことが報告された。評議員は評議会までに確定される。

(3) 会計・会員担当からの報告について（井上）（資料 206-3：当日配布）

・井上理事より学会の 3 月次決算と 4 月末現在の会員数の報告がなされた。最近では定年による退会者が多いので、そろそろシニア枠等による退会防止策も考えないといけないとのコメントがあった。
・また、非会員が FSS で発表しただけで、学会 SNS に登録してどんどん増加している準会員については今回から個人会員数に含めていないことも報告された。馬野会長からは、準会員を除くと正確な会員数は以前から単調減少していることがわかっているとの追加説明もなされた。

(4) 支部と研究部会の規程修正について（徳丸）（資料 206-17）

・徳丸理事より、現在の研究グループを支部と研究部会に戻すという支部規程の修正案について説明があった。前回理事会にて審議した際に出された意見をもとに修正案が呈示され、一部、他学会の規程を参考にして、文言を統一したことが報告された。今回承認されたので総会で報告される予定。

3. 理事会メーリングリスト審議事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) 横幹連合の常置委員会委員募集について（前田）（資料 206-4）

- ・前田理事より、横幹連合常置委員会の委員募集の件で学会事務局から打診があったとの説明があった。事前に事務局に依頼をして、学会メーリングリストにて本件の募集案内をしていただいたところ、会員からの委員推薦については特になかったことが報告された。理事会内でも特に推薦希望などがなく、本件については学会からの推薦は見送ることになった。(事務局へは庶務理事から連絡)
- (2) 横幹連合 2015 年度会費請求書について (井上) (資料 206-5)
- ・井上理事より、前述の議題(1)と関連して横幹連合の 2015 年度会費請求 (年会費 5 万円) に対して会員を継続するかどうかの審議依頼があった。審議の結果、今年度も会員を継続することになり、会費振込が承認された。
- (3) 名誉会員の学会誌での公表について (三河) (資料 206-6)
- ・三河編集委員長より、学会誌における名誉会員の掲載に関して審議依頼があった。名誉会員規程には、名誉会員決定者は本学会誌において公表されるとあるが、これまで学会誌ではしばらく名誉会員は公表されていなかった。そこで、今年度の学会誌 12 月号に受賞者を掲載する際に同時に過去の名誉会員も掲載してはどうかとの提案があった。
 - ・審議の結果、名誉会員は現時点で 19 名存在するが、これまで掲載された方を調べて、それ以外の名誉会員を氏名と写真とともに称号授与者一覧として 12 月号に掲載することになった。
 - ・三河編集委員長から、今後の理事会の窓口について明確にしてほしいとの意見があり、理事会での主担当を賞担当にして、副会長が名簿を作成することで了承された。
- (4) FSS の投稿システムの今後について (星野) (資料 206-7)
- ・星野理事より、FSS の投稿システムに不具合が現在も存在しており、他のシステムに移行しても良いのではないかと意見が出された。現在、学会 SNS とは異なる富士技術出版のシステムを検討中であることも報告された。
 - ・林副会長からは、費用の見積りと論文投稿処理の統一性の観点から、カラーチップスの今の投稿システムを残すかどうかを早急に決める必要があるとの意見が出された。これに対し、星野理事は現在の学会 SNS の登録システムは会員システムと連動しておりアカウントを翌年に引き継げるメリットはあるが、富士技術出版の投稿システムについては JACIII の担当者と一度詳細打ち合わせを試みる必要があるとのコメントがあった。
- (5) SOFT CR リンクバナーについて (関) (資料 206-8 : 当日配布)
- ・関理事より、SOFT CR のリンクバナーとしてシンプルなものを試作したことが報告された。当面の暫定的なリンクバナーとして、学会 HP トップでリンクを張ることが了承された。
 - ・乾口理事からはバナーだけではなく内容の簡単な説明も必要ではないかと指摘があり、説明のためのページにも仮でリンクを張ってはどうかとの意見が出された。
 - ・リンクバナーに関連して、SOFT CR のロゴの募集をしてはどうかとの意見が出された。大まかな募集プロセスは、今年の FSS の際に SOFT CR の宣伝とロゴ募集を行い、ロゴ採用者は来年度の FSS で表彰することに決まった。本募集プロセスの原案を関理事が作成することになった。
 - ・林副会長からは、SOFT CR の公開だけに留まらず、FSS のセッションや支部講習会などでメディアの説明などを企画しても良いのではないかと意見が出された。片上理事候補者からも、人工知能学会のツール講習会で収益を出している例も紹介された。
- (6) プライバシーポリシーの掲載について (関) (資料 206-9 : 当日配布)
- ・関理事より、SNS プライバシーポリシー (以下 PP と略記) とは別に学会 PP を HP で掲載するために総会で諮る必要あるのではないかと指摘があった。これに対して、馬野会長からは、現在の学会 HP で SNS PP (HP 上ではまだ混在しているので会員管理システム PP と名称統一する) しか存在しないが、SNS PP は残しておいて、学会 PP を新たに検討すべきであるとの意見が出された。
 - ・また、前田理事からは、現在の SNS PP に対し、今後検討する学会 PP は上位規程の位置づけにしたほうが良いのではないかと意見が出された。

- ・今回の提案については、現行の SNS PP と学会 PP を比較しながら、詳細検討を進める必要があり、時間的余裕を考えると現理事会の残りの期間で確定させることは困難なため、総会では会長から新たな学会 PP と SNS PP の取り扱いを現在検討中であるとの報告に留めることになった。
- (7) SCIS&ISIS2016 実行委員会委員の推薦について (工藤) (資料 206-15 : 当日配布)
- ・工藤理事より、来年度 SCIS について北海道支部ではヒューマンリソースが少なすぎるため、他の委員協力をお願いしているところであるとの現状報告があった。来年は高知方式で実施するため、確定していない委員は本部で対応する必要がある、委員を推薦してほしいとの申し出があった。
- (8) SOFT 研究推進支援事業について (乾口) (資料 206-16)
- ・乾口理事より、会員のための研究支援事業に関する提案があった。本件は理事会では今回で 3 回目の審議となる。前回理事会での指摘に基づき、今回、研究計画調書 (研究計画書の名称に変更予定) の様式提案があり、これについて審議を行った。
 - ・本事業を今年から始めるとすると学会誌 8 月号で案内を掲載し、その後 FSS で宣伝するのが妥当であるが、まだ議論すべき余地がいくつかあり、来月の最終の理事会までには確定が困難との判断で、今後議論を継続し、次期理事会に申し送りすることになった。
- (9) H26 事業報告と H27 事業計画について (徳丸) (資料 206-10 : 当日配布)
- ・徳丸理事より、昨年度事業報告と今年度事業計画について現時点で提出された資料をもとに、全員でチェックを行った。
- (10) H26 決算および H27 予算案について (井上) (資料 206-11 : 当日配布)
- ・井上理事より、昨年度決算案と今年度予算案について報告があった。決算案では会費収入は 600 万円弱で予算額に比べてやや減っていることも報告された。支部交付金リストについては承認された。
 - ・毎年決算報告においては、SCIS が開催され収益がある年とない年で赤字と黒字を繰り返す決算となっていた。この変動をなくす目的で、「学会運営基金 (短期)」という一時的な基金を作って、収益のある年に基金に繰り入れ、翌年これを取り崩して収益に充当することで、毎年収支を平均化する運用方式が提案され、了承された。昨年度の決算報告では、学会運営基金 (短期) を 450 万円とし、今年度の支出を多少増やすことも決まった。本基金の繰入については、決算資料の中に「剰余金処分案」を作成し、総会に示すことにする。
- (11) 監査報告について (和多田、安信) (資料 206-14 : 当日配布)
- ・総会で提出予定の事業および会計監査報告について、和多田事業担当監事と安信会計担当監事から文面についての提案があり、承認された。
- (12) 総会の議事次第について (前田) (資料 206-12)
- ・前田理事より、総会の議事次第と詳細スケジュールについて提案があった。両案ともに内容の一部修正の指摘があったが、基本的に了承された。
- (13) 評議会の議事次第について (林) (資料 206-13)
- ・林副会長より、評議会の議事次第について当日の PowerPoint 資料をもとに説明があった。評議会は鬼沢評議員長が全体の司会を行ない、林副会長が書記を行う予定。

4. 次回理事会と総会について

次回理事会、総会、評議会の日程はすでに確定しており、以下のとおり。

場所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス アプローチタワー 14 階 1405 教室

日程：2015 年 6 月 21 日 (日)	10:30~12:00	第 207 回理事会 (第 13 期理事会)
	13:00~14:00	第 26 回総会
	14:15~14:45	第 27 回評議会
	14:45~15:15	第 208 回理事会 (第 14 期理事会)